

2014
サイクルスポーツ
www.cyclesports.jp

11

特別
付録

2014年10月よりテレビアニメ第2期放送スタート!

TV ANIMATION SEASON 2

CYCLE SPORTS



弱虫ペダル
GRANDE ROAD

©渡辺航(週刊少年チャンピオン)/弱虫ペダルGR製作委員会

本誌オリジナル
シューズバッグ

CYCLE SPORTS



大特集

北海道をゆく

せとうちで最高の自転車旅をしよう!



10分
できる!

いつもキレイ! ベランダde洗車

シマノの新サービス
バイクフィッティング始動

フィット感Up!で、
走りと快適性を磨く

享樂の
RACER
SHOES
探し



昨シーズンはJシリーズや王滝など、国内のレースでも活動を見せた池田祐樹。今シーズンはそのおもな活動の拠点をアメリカやカナダに移し、ステージレースに参戦している。強豪選手たちと競いながら活動を続ける彼のレポートでMTB世界の広がりを感じてほしい。

text●Yuki IKEDA photo●Gibson Pictures

池田祐樹のカナダ武者修行

シングルトラック参戦記

シングルトラック6～ライド・ザ・ウエスト～ (Singletrack 6: RIDE THE WEST)

開催日：2014年7月26日(土)～31日(木)

開催国：カナダ・アルバータ州&プリティッシュコロンビア州

公式ウェブサイト：<http://singletrack6.com>

12 年間続いたカナダの超人気ステージレース「トランス・ロッキーズ・チャレンジャー」が昨年終止符を打った。その血統を受け継ぎ、今年新しく誕生したのがシングルトラック6だ。長年の大会運営で培ったノウハウに加え、エンデューロなどの新しいスパイスがたくさん盛り込まれた新時代イベント。

『シングルトラック6』は、その名のとおり、MTBのだいご味であるシングルトラックを惜しみなく使ったコースが目玉の大会だ。ステージ1、4、5、6にはエンデューロセクションも用意されている。エンデューロセクションとは、コース中にある下り基調の区間に設けられたタイムトライアル区間で、総合タイムとは別にタイム計測が行なわれるというもので、このスタイルは世界中のレースで取り入れられている、現在のトレンドといえるもの。かなり激しい下りも含まれるので、今大会ではドロップシートポストやポリリムがありノブの高いタイヤ、120～150mmサスペンションなどを装備するバイクも多かった。しかし、エンデューロセクション以外には上りもしっかりあるのでバイクのバランスも大切だ。

今年のコースは、アルバータとプリティッシュコロンビアの2州をまたぎ、初日はカナナスキス (Kanaskis)、2日目ニコカ (Nipika)、3日目ラディウム (Radium)、4～5日目ゴールドデン (Goldden)、最終日はレベルストーク (Revelstoke) をつらぬく。



ステージinfo

ステージ1 (カナナスキス)

40km、獲得標高1800m
エンデュロ：2km、200mダウンヒル

ステージ2 (ニピカ)

38km、獲得標高1100m

ステージ3 (ラディウム)

47km、獲得標高1300m

ステージ4 (ゴールデン)

30km、獲得標高1400m
エンデュロ：2.4km、373mダウンヒル

ステージ5 (ゴールデン)

60km、獲得標高1400m
エンデュロ：1.8km、200mダウンヒル

ステージ6 (レベルストーク)

47km、獲得標高1200m
エンデュロ：5km、300mダウンヒル

どの土地も「MTB天国」と呼ばれるほどの最高のロケーション。コースの大半は、カナダのウエスタン・ローカルライダー・コミュニティがボランティアや地域の助けを得ながら、ライダーのために作り上げたワールドクラスのシングルトラック。これは楽しくないはずがない！

今ステージレースはほぼ毎日移動するが、他のステージレースに多く見られるテント泊ではなく各町でホテルに宿泊するスタイル。参加者を楽しませようとする運営側の献身的な姿勢もすばらしい。初めてのステージレースを考えている人には比較的イージーに挑戦できるイベントだ。

私の今回のチャレンジの理由は至ってシンプル。「カナダのベストシングルトラックを思いきり乗りたい！」もちろん結果も狙っての参戦。カナダのナショナルチ

ャンピオンをはじめ、BCバイクレースの表彰台常連ライダーなど、強豪レーサーたちがざらりとスタートに並んだ。走ってみて感じたのは、スキルレベルが非常に高かったことだ。コースの大半がシングルトラックなので、フィットネス以上にスキルが要求される。たとえフィットネスが多少劣っている選手でもテクニカルなセクションを巧みにこなして上位に食い込んでくることがあるほど。

総合優勝したクリス・スネダン選手 (KONA・カナダ) は「トレル忍者」の異名を持つほどスキルレベルが高く、フィットネスも非常に強い。真のマウンテンバイカーと呼ぶにふさわしい選手だ。そんなトップ選手たちの背中を追うことで、私のスキルも目を追うごとに上達する。まるで6日間の超級レベルのスキルクリニックを受けているようで最高に楽しかった。

私の結果は、6位、6位、1位、9位、6位、8位で6日間総合では目標でもあった5位入賞することができた。6日間毎日全力で闘うので調子が落ちてくる選手、上がってくる選手、安定している選手がいる。テクニカルなコースゆえに機材トラブルや負傷を抱える選手も少なくなく、最終日まで順位は目まぐるしく変動した。フィニッシュ後は真剣勝負で闘ったライバルと健闘を称え合い、涙のハグを交わしたほどだ。最高のシングルトラックを思う存分満喫し、スキルの上達ができるだけでなく、世界のライダーたちと強い絆を作れることもステージレースの魅力だと思ふ。来年から毎年レースコースが新しく変更されることもこのレースの特徴。私も今から来年がどんなコースになるかわくわくして仕方がない。



Profile

池田 祐樹

Yuki IKEDA

トピーク・エルゴンレーシングチームUSA 所属プロライダー、かつ日本人初の米国自転車連盟認定コーチ。MTB競技で国内外の長距離、ステージレースをメインに参戦している。積極的に海外へ進出し、日本に知られていない世界の魅力あるMTBシーンを発信し続けている。2013年は、国内最大のMTBマラソン「SDA in 王滝」シリーズを制し2年連続「キング・オブ・王滝」を獲得、アメリカ「ブラック・エピック」(6DAYデュオ)優勝。今年は、世界で最も過酷と言われているヒマラヤ山脈のMTBレース「ヤックアタック」で準優勝、アメリカ「テルユーライド100」で初代チャンピオン、アメリカ「ブラック・エピック」(3DAYソロ)優勝、4年連続MTBマラソン世界選手権日本代表に選出。東京都在住。
公式ブログ: <http://yuki.bikejournal.jp>

上.カナディアンロッキーの壮大な自然に囲まれたレースコース。このすばらしいロケーションでシングルトラックを思う存分にライドができる。右下.ライダーが作ったライダーのためのトレイル。レース中さえ笑顔になってしまうほどの楽しいコース。トレイルビルダーたちの愛が感じられる。左下.ノリのいい音楽、たくさんの観客、盛り上げるMCがいる。疲れていても会場の熱い空気感で6日間気持ちよくスタートを切ることができた